

西濃に広がる あったかい 言葉かけ

西濃教育事務所 教育支援課 学校地域連携係
令和4年3月 第6号(最終号)

「大丈夫。いっしょにがんばろう！」

私が、授業で発表することができないと悩んでいたら、友だちが「大丈夫だよ。私も発表するの苦手だから、自信をもって発表できる方法を考えてみよう。2人でやればできるから、いっしょにがんばろう！」と言ってくれました。1人でできないのなら、2人でやればできるという友だちの考えが素敵だし、うれしかったです。

「気にするなよ。」

その分とりかえせばいいから。」

野球の試合で、守備側のとき、ぼくがミスをしてしまったせいで、大量得点につながってしまいました。そして、やっと守備が終わりベンチで落ち込んでいると、ピッチャーの子がぼくの方へよってきてくれて、「気にするなよ。その分とりかえせばいいから。」と言ってくれました。思わず泣きそうになったけど、その言葉をバネに、打席に立ってヒットを打つことができました。きっとその言葉がなかったら、立ち直れていなかったんじゃないかと、その後思いました。その言葉は今でも心に残っています。

「元気にしてくれてありがとう。」

わたしは、かぞく、友だち、いとこ、おじいちゃん、おばあちゃん、先生から「元気にしてくれてありがとう。」と言われるのでうれしいです。わたしも、やさしいことばを大切にしたいです。

「おはようございます。」

いつも とうこうのとき、きんじよの人たちが「おはようございます。」と言ってくれるので、うれしかったです。きょうも一日、がんばれそうです。

「お母さんもね。」

いつもは「いってらっしゃい。」と送るだけだったのに、私が働くようになると「お母さんもね。」と返してくれるようになりました。相手のことを考えて言葉をかけることがすごくうれしいし、通勤の行き帰りに気を付けて家族のために無事帰らないと！と気持ちを引き締める朝の日課です。(保護者)

「大丈夫」

1人でいるときに転けてしまったとき、誰かに「大丈夫？」と言ってもらえるとちゃんとそばに誰がいるんだなとあらためて思うことができる。たった一言だけど、その一言で安心することができる。そんな良い言葉はたくさんあると思います。そんな、たくさんの良い言葉達を今度は誰かを安心させられるように広めていきたいです。



「あったかい言葉かけ県民運動」に西濃管内から応募いただいた作品より紹介させていただきます。

